

Milestone Systems

XProtect® DLNA Server

システム管理者マニュアル

The documentation for this product is no longer maintained

内容

著作権、商標、および免責条項	3
概要	4
XProtect DLNA Server（説明付き）	4
XProtect DLNA Serverシステムフロー	4
ライセンス	6
DLNAライセンス	6
要件と検討事項	7
XProtect DLNA Serverをインストールする前に	7
XProtect DLNA Serverの要件	7
カメラ設定	7
インストールされているもの	7
インストール	9
XProtect DLNA Serverをインストールする	9
標準的なインストール	9
カスタムインストール	10
設定	11
設定中XProtect DLNA Server	11
DLNAサーバーの設定を構成する	11
チャンネルの追加	11
XProtect DLNA Serverの管理	12
XProtect DLNA Serverサービスのステータス	12
マネジメントサーバーのアドレスの変更	13
ポート番号の編集	13
操作	15
DLNA認証デバイスを使用してビデオストリームを見る	15

著作権、商標、および免責条項

Copyright © 2024 Milestone Systems A/S

商標

XProtect は Milestone Systems A/S の登録商標です。

Microsoft および Windows は、Microsoft Corporation の登録商標です。App Store は Apple Inc. のサービスマークです。Android は Google Inc. の商標です。

本文書に記載されているその他の商標はすべて、該当する各所有者の商標です。

免責条項

本マニュアルは一般的な情報を提供するためのものであり、その作成には細心の注意が払われています。

この情報を使用することにより発生するリスクはすべて、使用者が負うものとします。また、ここに記載されている内容はいずれも、いかなる事柄も保証するものではありません。

Milestone Systems A/S は、事前の通知なしに変更を加える権利を有するものとします。

本書の例で使用されている人物および組織の名前はすべて架空のものです。実在する組織や人物に対する類似性は、それが現存しているかどうかにかかわらず、まったく偶然であり、意図的なものではありません。

この製品では、特定の規約が適用される可能性があるサードパーティー製ソフトウェアを使用することがあります。その場合、詳細はMilestoneシステムインストールフォルダーにあるファイル`3rd_party_software_terms_and_conditions.txt`をご参照ください。

概要

XProtect DLNA Server（説明付き）



2023 R2 時点で、Milestone による XProtect DLNA Server のサポートは終了しています。

DLNA（Digital Living Network Alliance）はマルチメディアデバイス接続規格です。電子デバイスの製造者はさまざまなベンダーやデバイスの間で相互運用ができるように、そしてビデオのコンテンツを配信できるように、自社製品の DLNA 認証を受けています。

一般的なディスプレイやテレビの多くは DLNA 認証を受けており、ネットワークに接続されています。これらの機器は、メディアコンテンツのネットワークをスキャンしたり、デバイスに接続したり、メディアストリームを内蔵のメディアプレーヤーにリスエストしたりできます。XProtect DLNA Server は特定の DLNA 認証デバイスで検出でき、選択されたカメラからメディアプレーヤー付き DLNA 認証デバイスにライブでビデオストリームを配信できます。



DLNA デバイスには、1~10 秒のライブビデオ遅延があります。これはデバイスのバッファサイズが異なることによって引き起こされます。

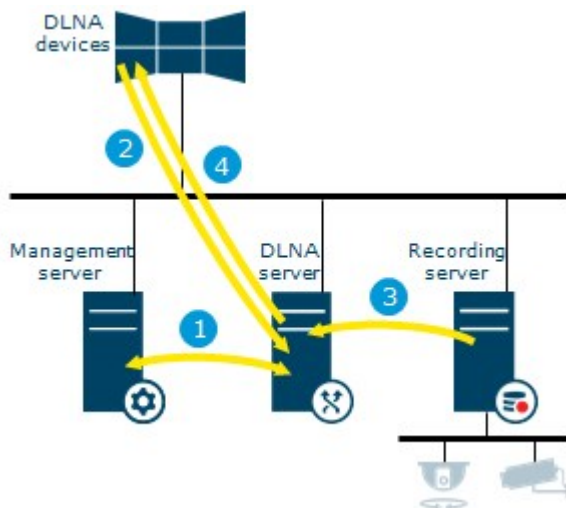
XProtect DLNA Server は XProtect システムと同じネットワークに接続されている必要があり、DLNA デバイスは XProtect DLNA Server と同じネットワークに接続されている必要があります。

XProtect DLNA Server システムフロー

XProtect DLNA Server は以下のコンポーネントで構成されています。

- XProtect DLNA Server
- XProtect DLNA Server 64ビットのManagement Client向け管理プラグイン

以下の図はDLNA デバイスとXProtect DLNA ServerシステムのXProtectの間での相互運用の大まかなビューを示しています。



1. XProtect DLNA Serverサービスを開始するとき、XProtect DLNA Serverはマネジメントサーバーに接続し、提供された資格情報により自分自身を承認します。承認の後、XProtect DLNA Serverが起動し、カメラからDLNAデバイスにH.264ビデオストリームを送信する用意をします。
2. DLNAデバイスはXProtectを介してXProtect DLNA Serverシステムに接続し、ライブカメラのビデオストリームを要求します。このためには、DLNAデバイスはXProtect DLNA ServerがインストールされたサーバーのIPアドレスか、ドメイン名（ドメイン/ホスト名）とDLNAポート番号が必要となります。これは、UPnPプロトコルで自動的行われます。
3. XProtect DLNA Serverはレコーディングサーバーから要求されたカメラのビデオストリームを取得します。
4. XProtect DLNA ServerはHTTPストリーミングを介して、要求されたカメラからライブのビデオストリームをDLNAデバイスに送信します。



H.264エンコード済みカメラのストリームのみがサポートされています。カメラが複数のストリームをサポートする場合は、デフォルトのストリームだけが送信されます。

ライセンス

DLNAライセンス

XProtect DLNA Serverでは追加ライセンスは不要です。ソフトウェアは、マネジメントサーバーのシステム管理インストールWebサイトから、無料でダウンロードしてインストールできます。

要件と検討事項

XProtect DLNA Serverをインストールする前に

XProtect DLNA Serverをインストールする際には、Management Client向けのサーバーとプラグインをインストールします。これらのコンポーネントでDLNAチャネルの追加が可能になり、ビデオをDLNAデバイスに提供できます。

複数のDLNAサーバーをXProtectシステムにインストール・追加できます。ただし、複数のDLNAデバイスは各DLNAサーバーに接続できるので、このことによりネットワークへの負荷が増え、パフォーマンスに影響する可能性があります。マネジメントサーバーを実行するコンピュータのネットワークリソースの使用量を全体的に減らすには、別のコンピュータ上にXProtect DLNA Serverをインストールします。



インストールにはEvent ServerサービスとManagement Clientの再起動が必要となります

Milestoneでは、実際のインストールを開始する前に、次のセクションに記載の準備を行うよう推奨しています。

XProtect DLNA Serverの要件

XProtect DLNA Serverコンポーネントをインストールするコンピュータの要件は以下の通りです。

- XProtectシステムと同じネットワークに接続されている
- マネジメントサーバーへのアクセス
- Microsoft®.NET Framework 4.7以降がインストールされている

さまざまなVMSアプリケーションおよびシステムコンポーネントのシステム要件についての情報は、Milestoneウェブサイト (<https://www.milestonesys.com/systemrequirements/>) をご覧ください。

カメラ設定

Management Clientにおける、推奨されるカメラ設定の検証

- 1秒当りのフレーム：**25**（またはそれ以上）。
- キーフレーム間のフレームの最大数：**25**（フレーム/秒と同じ値）。
- 解像度：**1920x1080**。
- ビットレート制御モード：**不変ビットレート**

インストールされているもの

インストール中、以下の構成要素がインストールされます。

- XProtect DLNA Server Admin Plug-in
- XProtect DLNA Serverには以下が含まれています。
 - XProtect DLNA Serverがインストールされたサーバーの通知領域からアクセスできる、実行中のXProtect DLNA Server Manager
 - XProtect DLNA Server サービス

インストールでは以下も行われます。

- XProtect DLNA Serverサービスの登録および起動
- XProtect DLNA Server Managerを開始します。これはがインストールされたサーバーのWindows通知領域にXProtect DLNA Serverあります。



プラグインはManagement Clientの**サーバー**ノードで利用可能です。これは、**典型的な**インストール方法を使えば、自動的に起動します。**カスタム**インストール方法を使えば、インストールの後の段階でインストールできます。

インストール

XProtect DLNA Serverをインストールする

インストールWebページにアクセスするには：

1. XProtect DLNA Serverをインストールしたいコンピュータにログインして、インターネットブラウザを立ち上げます。
2. ブラウザに次のURLを入力します：`http://[management server address]/installation/admin`
[マネジメントサーバーのアドレス]はマネジメントサーバーのIPアドレスまたはホスト名です。
3. **DLNA サーバーインストーラ**で**全ての言語**を選択します。
4. インストーラを適切な場所に保存するには、**保存**をクリックして、ここから実行するか、**実行**をクリックしてWebページから直接実行することができます。

インストーラを実行します。

1. 全ての警告を受け入れ、使用したい言語を選択します。**[続行]**をクリックします。
2. 使用許諾契約を読み、同意します。**[続行]**をクリックします。
3. インストールタイプを以下の手順で選択します。
 - 単一コンピュータシステムでは**標準**を選択します
 - 分散システムでは**カスタム**を選択します

標準的なインストール

1. 1つのコンピュータに全てのXProtect DLNA Serverコンポーネントをインストールし、デフォルトの設定を適用するには、**標準**を選択します。
 - **ネットワークサービス**、または**ユーザー名とパスワード**が割り当てられたドメインユーザーアカウントのいずれかとしてログインが正しいことを確認します
 - **[続行]**をクリック



後の段階でサービスアカウント資格情報を変更または編集するには、XProtect DLNA Serverの再インストールが必要になります。

2. URLまたはIPアドレス、およびプライマリマネジメントサーバーのポート番号を指定します。デフォルトのポートは80です。ポート番号を入力しない場合は、システムはポート80を使用します。次に、**続行**をクリックします。

3. ファイルの場所と製品の言語を選択し、**[インストール]** をクリックします。

インストールが完了すると、インストールされたコンポーネントのリストが表示されます。**[閉じる]** をクリックします。

4. Event Serverサービスを再起動してから、Management Clientを再起動します。

カスタムインストール

1. XProtectDLNAServer離れたコンピュータにコンポーネントをインストールするには、**カスタム** をクリックします。
2. サーバーをインストールするには、**XProtectDLNAServer** チェックボックスを選択し、**続行** をクリックします。
3. マネジメントサーバーとの接続を確立するには、以下を指定します。

- **ネットワークサービス**、または**ユーザー名とパスワード**が割り当てられたドメインユーザーアカウントのいずれかのログイン情報が正しいことを確認します。次に、**[続行]** をクリックします



後の段階でサービスアカウント資格情報を変更または編集するには、XProtect DLNA Serverの再インストールが必要になります。

- URLまたはIPアドレス、プライマリマネジメントサーバーのポート番号、ならびにXProtect DLNA Serverとの通信に使用する接続ポートを指定します。
 - マネジメントサーバーのデフォルトのポートは80です。ポート番号を入力しない場合は、システムはポート80を使用します
 - デフォルトのポート番号は、DLNAビデオは**9200**、DLNAデバイスは**9100**です

[続行] をクリックします。

4. ファイルの場所と製品の言語を選択し、**[インストール]** をクリックします。

インストールが完了すると、インストールされたコンポーネントのリストが表示されます。

5. **[閉じる]** をクリックし、XProtect DLNA Server プラグインを Management Client がインストールされているコンピュータにインストールします。プラグインをインストールには、インストーラを再度コンピュータで実行し、**[カスタム]** を選択してプラグインを選んでください。
6. Event Server サービスを再起動してから、Management Client を再起動します。

設定

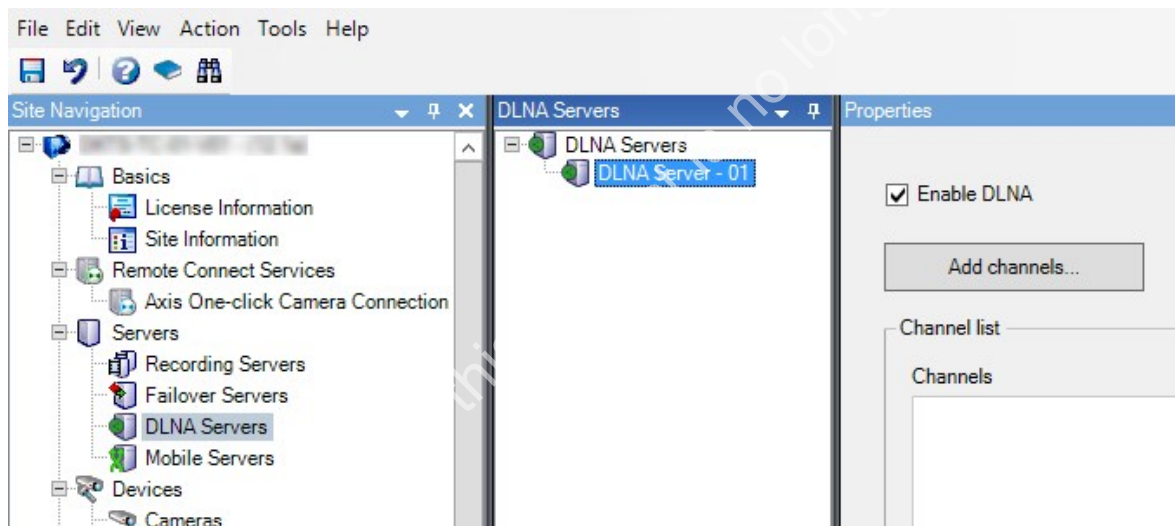
設定中XProtect DLNA Server

XProtect DLNA Serverのインストール後、XProtect DLNA Serverサービスが動作すると、通知エリアのDLNA Server Managerトレイアイコンが緑色に変わります。次のステップとして、カメラをXProtect DLNA Serverで有効にします。

DLNAサーバーの設定を構成する

DLNAデバイスにXProtect動画管理ソフトウェアへのアクセスを提供するには、次の段階を踏んでください。

1. Management Clientを開きます。
2. **サーバー**を展開し、**DLNAサーバー**を選択します。それから、追加したばかりのDLNAサーバーを選択します。



3. サーバーの名前を変更するには、DLNAサーバーを右クリックし、**名前の変更**を選択します。入力する名前は、メディアが使用可能なコンテンツをスキャンするときにDLNAデバイスが検出する名前です。
4. [プロパティ] タブでは、[DLNAを有効にする] のチェックボックスがデフォルトで選択されています。DLNAを無効にしたい場合は、チェックボックスを外します。

チャネルの追加

DLNAデバイスは、お使いのXProtectシステムで決められているチャンネルを見つけます。カメラに割り当てられるDLNAチャンネルには異なるタイプのものがあります。

- 単一カメラ：チャンネルごとにカメラ1つ
- 画面自動切替：チャンネルごとに複数のカメラ。チャンネルは、定義されたタイムインターバルで、選択されたカメラをスイッチします。

- ルールベース：チャンネルごとにひとつ、あるいは複数のカメラ。イベントに基づき、カメラはルールで定められたチャンネルに対して設定、または除去されます。



ルールで定められたチャンネルを追加するには、イベントサーバーがインストールされているものと同じマシンに DLNA サーバーをインストールする必要があります。インストールが完了した後、イベントサーバーを再起動する必要があります。



チャンネルの作成後は、**ルール**で新しいルールを作成し、このチャンネルにカメラが表示されるようにする必要があります。

DLNAデバイスで使用可能なカメラを選択するには、次の手順に従ってください：

1. **[チャンネルの追加]** ボタンをクリックします。
2. チャンネルタイプを選択します。
3. サーバーをカメラグループをクリックして、拡張します。それから、必要なカメラを選択します。

画面自動切替チャンネルで、各カメラの継続時間および順番を調節するには：

1. カメラを選択し、時間を調節します。
2. リストの一番上にある矢印を使用し、画面自動切り替えの順番を変更します。

カメラの割り当ての継続時間を、ルールで定められたチャンネルに設定するには：

1. **後でカメラをチャンネルから除去する** チェックボックスを選択します。
2. 時間を設定します。

加えられたチャンネルのタイプが**チャンネルリスト**に表示されます。

XProtect DLNA Serverの管理

XProtect DLNA Serverの構成後、様々な方法でサービスの監視と構成設定の変更ができます。

XProtect DLNA Serverサービスのステータス

XProtect DLNA Serverサービスのステータスを見るには、以下のステップに従います。

XProtect DLNA Serverがインストールされているコンピュータで、通知領域を見ます。XProtect DLNA Server Managerアイコンは、以下の色でXProtect DLNA Serverサービスのステータスを表示します。



- 緑：実行中
- 黄色：開始中、あるいは停止中
- 赤：停止

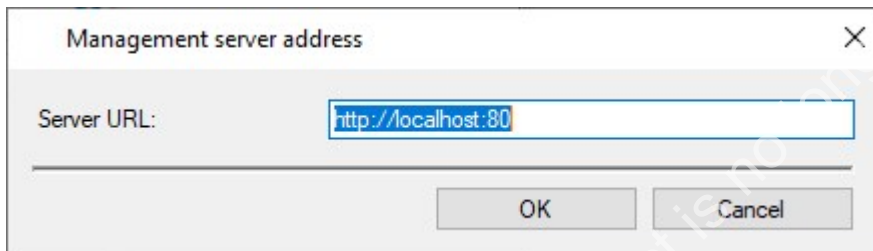
停止した場合は、アイコンを右クリックし、**開始XProtect DLNA Server**を選択します。

マネジメントサーバーのIPアドレスまたはポート番号を変更した場合、XProtect DLNA Serverでこの情報を更新する必要があります。XProtect DLNA Serverのポート番号も変更できます。

マネジメントサーバーのアドレスの変更

マネジメントサーバーのアドレスを変更するには、以下の手順に従ってください。

1. XProtect DLNA Serverサービスがインストールされているコンピュータで、XProtect DLNA Server Managerトレイアイコンを右クリックし、**マネジメントサーバーのアドレス**を選択します。



2. 新しい情報を指定し、**[OK]** をクリックします。



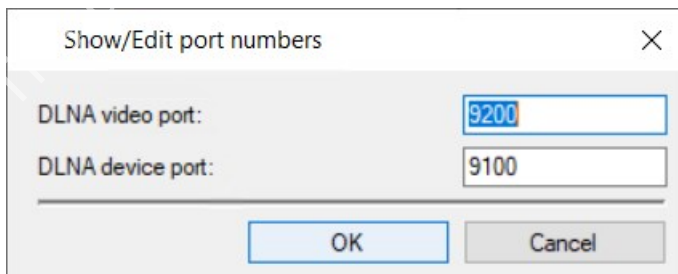
マネジメントサーバーがインストールされているサーバーのドメイン名またはIPアドレスを使用する必要があります。

XProtect DLNA Serverサービスが再開し、トレイアイコンが緑色になります。

ポート番号の編集

XProtect DLNA Serverのポート番号を変更するには、以下のステップに従います。

1. XProtect DLNA Serverサービスがインストールされているコンピュータで、XProtect DLNA Server Managerトレイアイコンを右クリックし、**ポート番号の表示/編集**を選択します。



2. 新しい情報を入力し、**[OK]** をクリックします。

XProtect DLNA Serverサービスが再開し、トレイアイコンが緑色になります。

操作

DLNA認証デバイスを使用してビデオストリームを見る

パブリックディスプレイまたはTVでXProtectシステムからライブビデオの視聴をスタートするには、次のステップに従ってください。

1. デバイスがDLNA認証され、XProtect DLNA Serverでネットワークに接続されていることを確認します。
2. XProtect DLNA Server発見されたら、ネットワークをスキャンし、接続します。
さまざまなチャンネルのリストが表示されます。
3. ビデオを見たいチャンネルに接続してください。
4. 選択したチャンネルにビデオが表示されていることを確認します。



helpfeedback@milestone.dk

Milestone について

Milestone Systems はオープンプラットフォームのビデオ管理ソフトウェア（VMS）の世界有数のプロバイダーです。お客様の安全の確保、資産の保護を通してビジネス効率の向上に役立つテクノロジーを提供しています。Milestone Systems は、世界の 15 万以上のサイトで実証された高い信頼性と拡張性を持つソリューションにより、ネットワークビデオ技術の開発と利用におけるコラボレーションとイノベーションを促進するオープンプラットフォームコミュニティを形成しています。Milestone Systems は、1998 年創業、Canon Group 傘下の独立企業です。詳しくは、<https://www.milestonesys.com/>をご覧ください。

